開公緑町マンション 6日から分譲受付

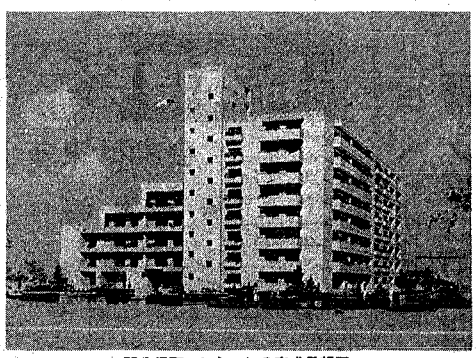
新潟市開発公社は、市の住宅政策の一環として、市内緑町に分譲マンション「開公緑町マンション」の建設を進めていますが、五月六日から、分譲申し込みの受け付けを開始します。引き渡しは十二月下旬の予定です。

快適な立地条件

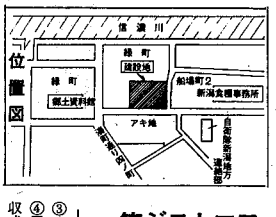
開公緑町マンションは、緑町の郷土資料館のとなり元専売公社塩倉庫跡地に建設しているもので、市開発公社の二番目の分譲マンションです。

古町十字路までバスで数分、徒歩でも約二十分と非常に交通の便の良いところです。

同マンションは、鉄骨鉄筋コンクリート造八階建て。3LDKを基本に五十戸を建設し、一階には歯科医院が開業の予定です。全戸に一千百二十万円から一千二百八十万円の住宅金融公庫融資がつくことになっています。



開公緑町マンションの完成予想図



分譲戸数　住宅五十戸

分譲申し込み受付　五月六日～五月十六日午前八時半～午後五時（土・日も平日どおり）

受付場所　市開発公社（上大川前通八、☎23―二六一二）

抽選会　五月十七日（日）午後一時から中央公民館ホールで

パンフレット・申込書配布場所　市役所本庁一階案内、各地区事務所、連絡所、市開発公社

設備概要

①ガス暖房給湯機によるセントラルヒーティング②ガスもれ事故防止のためのヒューズコックとガスもれ警報器の設置③玄関ドアは耐襲ドアを採用④居室は各戸とも三室に熱回収式換気扇を採用⑤乗用車十四台分の駐車場有り。

タイプ	戸数	面積 専有	面積 ベランダ	分譲価格
A	8戸	86.31㎡	12.10㎡	2,190～2,265万円
B	16	72.44	5.15	1,725～1,785
C	8	74.68	5.15～11.59	1,830～1,860
D	8	86.36	8.85～12.82	2,120～2,155
E	1	101.03	10.75	2,550
F	7	65.11～67.20	6.50～7.42	1,525～1,610
G	2	79.44	7.98	1,910～1,920

市民の宝物に 安宅安五郎の絵百二十点を寄贈

「父の生まれた新潟市に保存し、展示してほしい」と、故安宅安五郎画伯の絵百二十点が、四日十六日、安五郎の四男安宅慶四郎氏（東京都武蔵野市在住）から新潟市に寄贈されました。

新潟で生まれ、明治、大正、昭和の画壇で活躍した安宅安五郎（一八八三～一九六〇）は、「砂丘に立つ子供」（新潟大学所蔵）や「群蝶」（新潟県美術館所蔵）などで知られ、市民の中に多くのファンがあふれている作風」（この絵の橋渡しをした富川潤一さん談）で、作者の人柄がよくにじみでています。

今回寄贈された作品は、昭和十年から三十五年の間に描かれた水墨画で、彼が特に興味を持ち、好んで描いた陶磁器写生六十点、中国、台湾を旅行した際描いた風景画三十八点、京都周辺風景十五点、その他三点、合計で百二十点です。

安宅慶四郎さんは「兄弟六人で分けて絵を持っていたが、三人が亡くなり、孫の代になると散逸してしまう恐れもでてくるので、富川先生にお願いして、新潟市に保存してもらうことにした」と、そのキッカケを話していました。

寄贈をうけた川上市長は「貴重な作品をいただいて大変うれしい。市民の中にも安宅先生の絵を持っている人は大勢いると思うので、その絵を借りて、先生の絵を一堂に会した“安宅安五郎すべて展”を市美術館のできる前にも開きたい」と、大喜びでした。

寄贈された絵の説明をうける川上市長（右）、中央が安宅さん

筋ジストロフィーのカナダ女性“来港” 「お互いに理解を」

筋ジストロフィー症にかかった重障害者のカナダ女性が、日本縦断中「新潟市」を訪れ、四月二十二日、市社会福祉センターで身体障害者、ボランティアなどと約一時間半にわたって懇談を行いました。

この女性は、キャサリン・フリーズさん（二七）で、東洋哲学を専攻し日本に興味を持っていることや、国際障害者年にあたっての日本の障害者の現状を視察するために訪れたものです。

キャサリンさんは懇談の中で「カナダに帰ったら体験を基に、障害者用の日本観光ガイドブックを作りたい」「国と国、障害者と障害者の理解が深まることを望んでいます」と話していました。

障害者の人たちと懇談するキャサリンさん（中央）

ボクの名前はタロウです 水族館のジャンボトド

ボクはタロウです――昨年十二月、小樽の水族館からはるばるやってきトド君の名前が、タロウに決定しました。

二月二十二日付「市報にいがた」で、トド君の名前を募集して以来、タロウ（百二十票）、犬ちゃん（百一票）、ドンちゃん（八十三票）など三千八百九十一票もの応募があり、水族館では選ぶのにひと苦労。結局、得票数が一番多かった「タロウ」に決定しました。

はれて名前も決まり、体長三・五以、体重一トンのジャンボなタロウ君は、今日も元気いっぱい水しぶきをあげています。皆さん、どうぞこのタロウ君に会いにいってください。

なお、水族館では、「タロウ」に応募してくださった百三十人の中から、野口亜紀ちゃん（東堀13）ら五人の方を名付け親に選び、記念品を送りました。たくさんのご応募ありがとうございました。

第一回ハンディキャップレクリエーション講習会

日本で組織だってやる初めての「ハンディキャップレクリエーション」講習会です。どうぞ、ご参加ください。協会公認指導者検定のための単位が取得できます。

会場　市社会福祉センター

対象　ハンディキャップのある人、施設関係者、ボランティア、ハンディキャップレクに興味のある人

定員　先着五十人

会費　千円

申し込み　五月二十五日（必着）までに、はがきまたは電話で住所、氏名、年齢、性別、連絡先、所属団体、障害のある人はその程度を、市ボランティアビューロー（〒951八千代一―五一四、☎43―四三七〇）へ。

特典　日本レクリエーション協会公認指導者検定のための単位が取得できます。

主催　市社会福祉協議会ほか

日程

回	月日	内容	講師
1	5・30	開講式（オリエンテーション） 出会いとレクリエーション ―レクの楽しさ―	日本レクリエーション協会指導者 荒木 快英氏
2	6・3	講義「国際障害者年とレクリエーション」	ボランティアビューロー理事 斎藤 芳子氏
3	6・10	ハンディキャップゲーム ―車イスゲーム等―	日本レクリエーション協会指導者 池 良弘氏
4	6・17	ねたままのレクリエーション	河渡病院より指当 若槻 宏子氏
5	6・24	レクダンス ―みんなでつくる車イスダンス―	日本レクリエーション協会指導者 竹村 チヨ子氏
6	7・1	グループアートトレーニング ―相手の立場、自分の立場―	日本レクリエーション協会指導者 小林 敬子氏
7	7・8	レクプログラムの実際 ―立案のポイント―	日本レクリエーション協会指導者 荒木 快英氏
8	7・15	事例発表 ―レクをとり入れて― わかれのつどい	はげらか作業所ケースワーカー 佐藤 正巳氏

時間　午後6時～8時半

離乳食講習会

日時　5月6日午後1時～3時半

会場　東保健所

対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん

持参品　母子手帳

食品営業者の皆さん 更新申請を！

今月（5月）に更新申請をしなければならない食品営業者は下記の地区の方です。該当者は忘れずに更新申請を。

なお、組合加入者は、組合の指導員の所に申請用紙をもらいに行ってください。

申請用紙は各食品衛生組合事務所にあります。

A一下地区　西堀通6～11、西堀前通7～11、古町通7～11、東堀通7～11

詳しくは、西保健所（☎66―5171）へ

股関節検診（希望者のみ）

対象　56年1月生まれ

受付時間　午後1時～2時

持参品　母子手帳、オムツ、ミルク、料金930円

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
5・15	山の下、桃山、下山、東山の下、竹尾、木戸、牡丹山、中野山、東中野山、南中野山、山潟、丸山、大淵
5・22	万代、南万代、長嶺、沼垂、笹口、上所、女池、上山、鳥屋野、曽野木、東曽野木、酒屋、割野、大形、松浜、濁川、南浜、太夫浜、太郎代

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
5・12	小針、青山、五十嵐、真砂、坂井輪、坂井東、新通、有明台、笠木、小瀬、内野、東青山、西内野
5・26	浜浦、関屋、新潟、礎、大畑、白山、鏡淵、濤、栄、入舟、豊照、木山、赤塚

妊婦の貧血講習会

日時　5月18日午後1時～（1時半まで受け付け）

会場　西保健所

持参品　母子手帳、筆記用具

成人病食事相談

〈西保健所会場〉

日時　5月12日午前9時～11時

申し込み　電話で西保健所（☎66―5171）へ

〈東保健所会場〉

日時　5月11日、25日午前9時～11時

申し込み　電話で東保健所（☎41―4111）へ

〈石山地区保健センター会場〉

日時　5月13日午後1時～3時

申し込み　電話で石山地区保健センター（☎86―4450）へ

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
5・5	午前10時～午後4時	新潟市役所前（西堀6）
5・6	〃	新潟日報社（東堀通1）
5・7	午前9時半～午後4時	県庁（鏡員）（学校町1）
5・8	〃	〃
5・9	午前10時～午後4時	新潟市役所前（西堀6）

老人健康相談

日時　5月8日午後1時半～3時

会場　老人憩いの家「鳥屋野荘」

対象　60歳以上の人

内容　病気についての相談、ねたきり老人の看護のしかた

保健婦による健康相談

月日	対象校区	会場	時間
5・6	曽野木	鎌木会館	午前10時～正午 午後1時～3時
5・6	大形	大形連絡所	
5・8	紫竹・南浜・濁川	北地区保健センター	

※曽野木地区は午前は成人、午後は乳幼児、妊産婦が対象